

県民のくらし目線で県政千エツク

日本共産党

1月から6月の日本共産党県議団の一般質問から



2月29日 岡野

県は、「地方自治体の責務としてしっかりと子どもの貧困という課題に取り組む」と答弁。

子どもの貧困は、社会問題となり、三重県でも「子どもの貧困対策計画」の最終案が出されました。この計画を前に行った実態調査では「運動会の練習で、朝食をとってこないため1時間くらいすると倒れてしまう子ども」「食事を満足に食べていない子にPTAがパンを配るようにしたが、子どものプライドもあって継続はむずかしい」などが出ています。津市内のある小学校では、児童数の64パーセントが生活保護や就学援助をうけており、お風呂に入れてもらえない子どもに、学校はシャワーを設置したという実態もあります。貧困が見せる中、子どもの貧困にすぐ手を差し伸べる県政であるべきです。県の実態把握と責任をもった取組を求めました。

県は、非正規労働が不安定でセーフティネットが不十分という課題は認めながら「母子家庭の雇用構造の調査は行わない」と冷たい答弁でした。

などを要求すると共に、特に厳しい母子家庭の保護者の非正規労働の割合の調査もしていないことを指摘し、実態把握を迫りました。

*全国では当たり前の窓口無料はみなさんと長年の取り組みで議会への請願はやっと可決されました。しかし、県は「コンビニ受診が増える、給付と負担のバランスを考えつひき続き検討したい」として進める様子はありません。

岡野県議

子どもの貧困 だだちに着手する県政へ

貧困救済の具体的支援を

岡野県議は、

- ①「就学援助」の入学準備金の支給は早い自治体でも5月になり入学の準備に間に合いません。周知徹底と、入学準備に間に合うよう市町に働きかけること
- ②言葉の壁がある外国の子どもたちへの支援、
- ③スクールソーシャルワーカーの増員、
- ④子ども医療費の窓口無料

本年1月から6月に開かれた県議会定例会月会議での日本共産党県議団の主な質問の内容をお知らせします。

サミット・ステイアセンター用地 無償提供！！ 山本県議



6月10日 山本

山本議員は、大騒ぎした伊勢志摩サミットが終わったが「県民のためのサミットだったのかという目線での検証が要だ」と前置きした上で、「警備関係者の直前の大量宿泊キャンセルが出たことへの対応」や「ステイアセンターネック建設のために県有地を無償(有償では約1700万円相当)で外務省へ貸し付けた経緯」について質問しました。

県は「大量キャンセルについては再配置などをして緊急対応したが総数としては減り地元にはご迷惑をおかけした。既定のキャンセル料以外の補償はできないが、今後宿泊客誘客などに努めることで対応したい。借地料については公共性の極めて高い事業ということで無償提供した」と答えました。

山本議員は、「地元の方が不便や不満をぐっと飲みこんで協力した思いを踏みにじるようなことはしないほしい。借地料に

関しても、他の施設利用ではきちんと支払ってもらっている。県民サービスを削り借金までして県民負担を強いているわけで、1700万円といえども強く交渉できなかったことは残念で問題だ」と指摘しました。

車いす移動車税減免 要件緩和を

愛知県など11県では、家族介護のための車いす移動車の自動車税減免が要件基準なしに実施されていることを紹介し、「通院・通学・通勤に月4回以上利用という要件を付けていることは、車いす利用を余儀なくされている障がい者・介護が必要な方の社会参加を阻み、介護家族の負担を顧みない設定だ」と要件緩和を要求しました。

税担当は「税の公平性から考えられない」と答弁。

山本議員は「福祉的な立場で健康福祉部とも一緒に考えてほしい」と重ねて要求しました。

*他に、台湾の鴻海に買取されたシャープへの補助金支出についても聞きました。

活動の詳細は議員個人ニュースやHP・FBでぐらんになれます

日本共産党 県議会報告

発行/県議会・日本共産党
〒514-8570 津市広明町13番地
電話：059-224-3302
FAX：059-224-3303
<http://kengidan.jcp-mie.jp/>

2016年
夏季号



ご意見・ご要望お気軽にお寄せ下さい

2015年度 政務活動費【会派分】 報告します

広聴広報費	2,197,957
資料購入費	46,563
事務費	1,591,455
合計	2,403,665

会派分は月額上限 300,000円×11カ月
3,300,000円交付のうち 896,335円を返納

*議員個人分も含め、詳細は
議会HPでご覧になれます

県議会 あなたの願い実現へ

くらし・いのちを守る！あなた目線で県政をチェック

なんでも賛成ではチェック役はできません！



2016年では	賛成	反対
3月議会	73 議案	29 議案
6月議会	11 議案	1 議案

反対討論に立ち理由を述べて反対しています。草の根運動みえの稲森県議と一緒に反対したのもあります。



◎認定こども園の職員の3分の1までなら無資格者でも可とする条例改正に反対



- ◎サミットに2年間で9.4億円の予算
一方で県民サービス削減(例:信号機新設予算30機⇒11機)
- ◎RDF発電所・長良川河口堰は失敗でも税投入予算
- ◎シャープへの補助金4億円(2016年)予算
- ◎「公約による知事給与減額」を撤回で増額の条例改正
- ◎議員ボーナス引き上げ(議員提案)条例改正
- ◎職員・教員定数削減の条例改正
- ◎認定こども園3歳児未満の給食外部搬入可とする条例改正
- ◎居宅サービス事業所などの認可を市町に移管する条例改正などに反対

伊勢志摩サミットについては、4月・7月と開催前後に現地へ入って聞き取り調査をしました。道路整備やテロ対策に、県民サービスを削り借金してまで巨費を投じました。期待と共に不安や不便が広がったのが事実です。営業補償や地元への説明不足なども含め「諸手をあげて賛成はできません」。
リニア新幹線は、環境破壊の面、採算性や、効率性、何より巨額の費用がかかることが問題です、「すでに破たんしている長良川河口堰や、RDF発電所、ガス化溶融炉の二の舞にならず」と反対しています。

提案し、県民のみなさんや他党派のみなさんと共同します

- 「子ども・障がい者・ひとり親家庭医療費窓口無料」 県民請願可決
- 「安全保障法の廃止または再検討を求める意見書」 議員発議可決
- 「沖縄県における米軍属による凶悪事件に抗議する決議」 議員発議可決
- 「福祉医療費助成の国の制度化と国保のペナルティ廃止を求める」 県民請願可決 など

みなさんとご一緒に進めてきたことの紹介議員となり実現への手がかりを作りました。



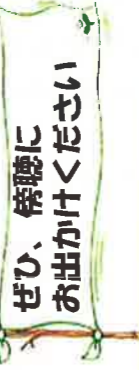
*医療費窓口無料は、全国で38の都府県で取り組まれています。

請願は2015年6月に可決されましたが、三重県は導入する意向を示しません。

議会の民主化を求めて・・・議長に申し入れ

2016年5月2日

- ① すべての党派から代表者会議・議会運営委員会への参画を
- ② 一般質問時間の延長(現在は1年間で60分答弁含む)
- ③ 本会議採決日のTV中継
- ④ 政務活動費における海外視察の廃止 他



2016年度 日本共産党の二人の県議の所属

- 岡野美議員
 - ・健康福祉病院常任委員会
 - ・議会運営委員会
 - ・予算決算常任委員会理事
- 山本里香議員
 - ・環境生活農林水産常任委員会
 - ・選挙区調査特別委員会
 - ・議会改革推進会議幹事

知事の参院選特定候補者応援について強く抗議

7月6日、ヒートアップする参議院選挙で、鈴木英敬知事は特定候補の応援に駆けつけ、応援演説をしました。共産党県議団が三重県政を後退させているかのような発言まで飛び出しました。現職県知事としては異例のことと強く批判が出ています。知事は受け取りの際の面談を「時間が無い」と拒否。通路で渡すだけということになりました。抗議全文は、HP, FBでご覧になれます。
知事個人が、どの候補者を支持しようと、個人として自由ですが、広くそれを公言し実質的な応援活動に回るということは、三重県知事として許されるものではありません。三重県の為政者として憲法順守義務がある知事が、現職権がすすめる憲法違反の「集団的自衛権」「安保関連法」を擁護し推進する立場に立つことは憲法違反です。

